

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	次世代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくりプロジェクト		実施期間	平成24年度～25年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う人づくりのため、子供たちの学力向上が必要である。 ・文化芸術を守り育てるため、市民がスポーツや文化芸術に触れあう機会の提供が必要である。 ・市内既存施設の老朽化対応や、時代の移り変わりとともに変化するニーズに合った施設整備が必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学習環境の充実を図り、子どもたちに確かな学力を付け、京都府学力No1を目指す。 ・子どもがスポーツや文化芸術に触れあう機会を提供し、健康な体と豊かな心を備えた人づくりを目指すとともに、次世代に現在の文化活動を引き継ぎ、発展させることを目的とする。 							
	総事業費（千円）	188,551	本年度事業費（千円）	162,671	交付金額（千円）	20,538		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	国庫補助史跡「八角堂」買上げ事業	交付対象事業	平成24年1月に石清水八幡宮境内の一部として史跡指定を受けた八角堂を取得する。		取得面積 3,835㎡			
	国庫補助史跡「松花堂・庭園」保存整備事業	交付対象事業	松花堂屋根茅葺及び部分補修 庭園測量業務委託		史跡松花堂改修工事 工事内容 松花堂・腰掛待合・中門建物修理 松花堂庭園内園、史跡松花堂およびその跡庭園実測図作成 面積 900㎡			
	文化芸術拠点整備事業	交付対象事業	文化センター施設・設備改修（エレベーター改修工事等） 松花堂庭園改修		文化センター施設・設備改修 エレベーターリニューアル工事、電話交換機更新経費 空調機改修実施設計、ホール内映像設備デジタル化更新 パイプ椅子更新 松花堂庭園改修 収蔵品改修、庭園施設改修 美術館収蔵庫・展示室空気環境調査、茶道具購入等			
住民 協働 事業	府下学力No1学校改革推進事業	交付対象事業	小中一貫教育推進、学力向上推進（学習支援員配置、スクールソーシャルワーカー増員等）		小中一貫教育推進 小中一貫教育推進コーディネーターの代替講師4人派遣 八幡市一貫教育推進協議会開催 学力向上推進経費 学習支援員30人新規配置。 スクールソーシャルワーカー2人拡充。 全国学力・学習状況調査採点業務委託。 英語検定受験料負担（対象者：中学1年生539人）			
	馬場市民公園芝生化協働事業	関連事業	22年度に芝生化した馬場市民公園の芝生維持のための苗等を購入		芝生苗等の購入、住民との協働による芝生維持管理 肥料散布機購入			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：八幡市

成果指標 ①	成果指標の目標数値	文化センター利用件数、人数 3,691件 165,208人（23年度）→ 増加		成果指標の実績値 （24年度）	3,831件 184,038人
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	エレベーターリニューアル工事等の施設改修は利便性を向上させ、京都府南部の文化芸術の拠点として市民に広く認識されるようになった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標 ②	成果指標の目標数値	松花堂庭園利用人数 26,927人（23年度）→ 増加		成果指標の実績値 （24年度）	27,440人
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	松花堂の改修等により、文化財の魅力が向上し、入場者が増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	文化センターについて、前年度と比べて約19,000人の大幅増となったのは、エレベータの改修や映像設備のデジタル化により市民が安心して利用できるような施設との認識が広がったことが要因の1つにあげられる。松花堂についても庭園の補修等の実施により利用人数増だけでなく、文化芸術を守り育てることに貢献した。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	馬場市民公園芝生化協働事業は、市民がスポーツにより一層触れ合う場所を提供し、行政と住民との連携・住民同士の連携の強化を図ることができた。			
	リーディング・モデル成果	府下学力NO. 1に向けて、学習支援員配置・スクールソーシャルワーカーを増員した。			
	広域的波及成果	松花堂周辺整備事業、松花堂屋根茅葺及び部分補修は来訪者をもてなすための受け入れ環境の整備を進め、観光客の誘引に向けた効果がある。			

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。